



全国生協労働組合連合会
闘争情報1643号

2010年2月6日(土)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9

TEL 03-3408-0067・7695

<http://cwu.jp/>

「核兵器のない世界を」

店頭いっせい署名行動スタート みやぎ生協労働組合

みやぎ生協では、2月1～10日までの10日間、「核兵器のない世界を」店頭いっせい署名行動をスタートしました。48店舗のトップをきったのは大代店です。



10春闘学習会 市民運動と署名の大切さ

5月のNPT再検討会議に向けて、1月22日に開催した春闘学習会に、職場から87人が参加しました。

講演に、木村緋紗子さん（県被爆者の会代表）と中嶋廉さん（非核の政府を求める宮城の会常任世話人）をお招きし、核兵器の悲惨さや核兵器のない世界の実現に向けての学習をおこないました。

中嶋さんは、「核戦争の手を縛った最初の市民運動」として、1950年11月、5億を超える署名で実現した「ストックホルム・アピール署名」を例に「百万の署名を平和の敵は無視する。千万の署名は平和の敵を激怒させる。億の署名は平和の敵を黙らせる」と、イギリスのヒュートレット・ジョンソン氏の言葉を引用して話され、市民運動や署名のとりくみの重要性を訴えました。

3つの重点方針をもとに要求 コープネット労働組合

コープネット労働組合は、①生協の存在意義を見つめ直し、生協職員・社員の将来展望を明確にすること、②健全で快適な職場を実現させるために「就労の正常化」に向けた組織風土を構築していくこと、③労組員一人ひとりが参画感をもって、主体的に取り組む春闘にしていくこと、の3つの重点方針を掲げ、今春闘交渉に臨みます。

労組は、「今春闘においては、これらの春闘方針に基づき従業員満足を高めていくことが、顧客満足実現の源泉であり、結果として現在の厳しい経営環境からの脱却と健全経営構築の近道であることを労使で確認したい」として、生活実感・労働実態に基づく要求を真摯に受け止め、誠意ある回答をするよう求めています。

いきいきと働き続けられる職場を創ろう 日本生協連労働組合

日本生協連労働組合は、労働実態改善、特に残業時間の削減について、2010年春闘・一時金闘争でも「いきいきと働き続けられる職場を創る取り組み」として、重点課題に位置付けました。

その具体化の一つが、労働実態改善を求める声を「ひとことカード」。働く現場である分会での活動が重要として、労働実態改善のとりくみが進んでいるか、職場の状況・実態を把握します。労組は職場へ、労働実態改善を求める切実な声を「ひとことカード」に記入し、集約された声をもとに職場の労働実態と想いを分会で共有化することを呼びかけています。